

料金別納郵便



辻 協 遺作展 「てふてふ」

ー存分に恵みの食卓ー vol.2

令和4年7月4日(月)～10日(日) 会期中無休

開廊時間：午前11時～午後7時（最終日10日は午後5時まで）

陶歴 昭和5年 東京都生まれ
昭和27年 東京女子美術専門学校（現女子美術大学）洋画科卒業、「新工人」会員
ガラス板に漆を塗って彫刻する独創的な作品を制作
昭和28年 辻 清明氏と結婚。結婚をきっかけに作陶を始め、多摩に陶房を築く
昭和45年 女性初の「日本陶磁協会賞」受賞
平成20年 死去（享年77歳）
パブリックコレクション 東京国立近代美術館、米 アートコムプレックス美術館
英 ヴィクトリア&アルバート博物館 等
著書 『肴と器と』 辻清明共著（講談社）、『存分に恵みの食卓』（文化出版局）

辻協さんは、日本における女性陶芸家の草分け的存在でした。粉引手などの一風ある優美な造形の器を作られ、また伴侶である日本陶芸界の巨匠、辻清明氏と共に美食家でもありました。

一昨年の辻協展の際、長女のけいさんが山形から取り寄せた紅花を会場に生けました。展覧最終日、その紅花からアゲハ蝶が姿を現しました。弊廊での感動的な羽化の場面は今でも昨日のこのように鮮明に思い出されます。本展は、前回の蝶誕生の感動から、サブタイトルを「てふてふ」と名付け、協さんが意欲的に取り組まれていた「蝶＝てふてふ」をモチーフにされた器を中心に展覧いたします。ご子息で抽象画家の丈夫さんが自身の作品を掲げ、お母様の作品に花を添え、次女でハーピストの史子さんは会場で優しい音色を奏でてくれる予定です。

協さんが、大好きだった蝶と共に子供達の活躍を笑顔で見守っていることは間違いありません。暑い最中の展覧で恐縮ですが、ご清覧頂ければ幸いです。

店主 安田尚史

柿木ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

160-0022 東京都新宿区新宿 3-37-11 安与ビル B2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com

公式Instagram



コロナ禍の影響で、会期と作家在廊日等の変更や、オンライン展示のみの可能性もございます。
お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。

